

～ 真理の道・誠の道・平和の道～

# 東 雲



平戸市立度島小中学校

学校だより No.22

令和6年11月15日(金)

文責：校長 園田栄作

## 生の演奏に酔いしれたスクールコンサート！ ～ 「長崎 OMURA 室内合奏団」を招いて～

12日(火)に、スクールコンサートを実施しました。この事業は、平戸市教育委員会と(一財)長崎県教職員互助組合が主催で、平戸市の全小・中学校で開催されるものです。学校によってその内容は違いますが、本校には、「長崎 OMURA 室内合奏団」の12名の方が来校し、演奏してくださいました。モーツァルトやベートーベンの曲などのクラシック音楽もあれば、ルパン三世のテーマ曲など、馴染みのある音楽もあり、楽しみながら聴くことができました。また、本校の校歌も演奏してくださいさり、オーケストラの演奏にのせて歌う校歌は格別でした。

コンサートの中では、ただ聴くだけではなく、児童生徒の代表者による楽器の体験コーナーもありました。ヴァイオリンやチェロの楽器を実際に弾かせていただきました。体験した子どものほとんどは、初めての演奏でしたが、上手に弾くことができました。オーケストラの方と一緒に演奏ができ、大満足の様子でした。また、児童生徒、職員全員が特別に演奏者の間近で生の演奏を聴かせていただくサプライズもあり、素敵な音色を体全身で味わうことのできる贅沢な時間を過ごすことができました。



コンサートを進行して下さった〇〇さん(フルート奏者)からは、次のような心に響く言葉をいただきました。「楽器にも個性があります。いい演奏にするためには、それぞれの個性を認め合って演奏することが大切です。」私達人間にも個性があります。皆がそれぞれの良さを発揮し、生き生きと輝く人生を過ごすために大切なことを、演奏を通して教えてくださったような気がしました。また、子どもたちへのプレゼントとして、アンジェラ・アキさんの「手紙～拝啓 十五の君へ～」を演奏してくださいました。そこには、受験を控えた中学3年生への温かいメッセージが込められていました。一つの大きな節目を迎え、不安な気持ちになることがあるかもしれないが、それも人生において大事な経験であり、その先に素敵な未来が待っていることを信じて頑張っていきたいと話してくださいました。コンサートに触れ、参加者はますます音楽が好きになりました。

## 11月8日は、「いい歯の日」でした。 ～ 虫歯は治療しないと治りません！ ～

「歯一本の価値は、どれくらいだと思いますか？」

なんと、答えは「100万円」です。いい歯の日に合わせ、歯のことに子どもたちに理解してもらおうと、本校の〇〇養護教諭が、クイズ形式で児童玄関に掲示してくれています。子どもたちは、歯の大切さをますます実感し、歯磨きを丁寧に行っています。本校は、う歯（虫歯）治療率100%を目指しています。残念ながら、あと数名受診できていないところです。虫歯は自然には治りません。逆に悪くなるばかりです。100万円の価値の大切な歯を無駄にしないように、早めの受診をお願いします。



### 読書感想文で入賞（中学生の部）！

平戸市読書感想文コンクールにおいて、中学生3名が入賞しました。学校だより第20号で紹介しました小学生の読書感想文・感想画の入賞者も含め、12日（火）に校内で伝達表彰を行いました。次々と、入賞の報告ができ、とても嬉しいです。子どもたちの日頃の学習への取組のたまものです。

□第19回平戸市読書感想文コンクール	課題図書の一部	優良賞	3年	〇〇〇〇
	自由図書の一部	優良賞	3年	〇〇〇〇
	自由図書の一部	優良賞	1年	〇〇〇〇

### 挨拶のさらなるレベルアップを！

子どもたちの挨拶については、地域の方からもお褒めの言葉をいただくほど、概ね気持ちのよい挨拶ができています。「目を見て」「笑顔で」「立ち止まって」「名前を添えて」など、それぞれに良いと思った方法で、レベルアップを図っています。ただし、寒くなったり、気分が乗らなかつたりすると元気がないときも見受けられます。2学期も半分が過ぎましたので、再度どんな挨拶をしたらよいか、全校朝会で話をし、振り返ったところです。挨拶には、右に挙げているようなよさがあります。社会人になっても、まず大事とされることです。一日を気持ちよく過ごすためにも、大人になっても自然とできるように、今しっかり身に付けてほしいものです。



#### ■挨拶のよさ

- ①やる気スイッチが入る
- ②挨拶した人も、された人も気持ちがいい
- ③緊張がほぐれる
- ④感謝の気持ちが伝えられる
- ⑤仲良くなれる